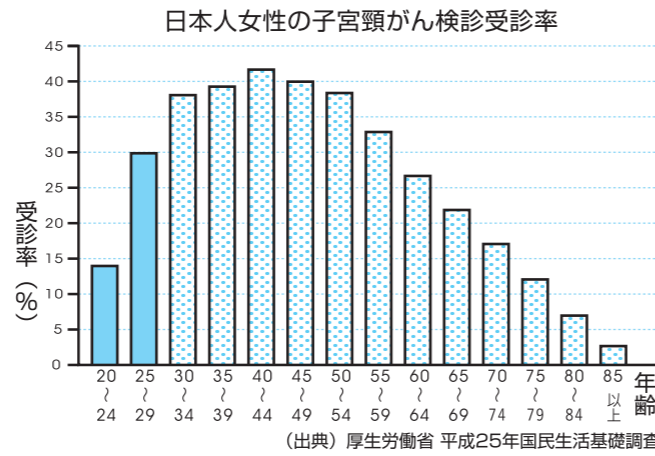


自覚症状が現れにくいいため、検診を受けることが重要です

がんの進行とともに治癒率は下がり、子宮摘出のリスクが高まります。本当に怖いのは、がんが進行しているのに気づいていない状態です。子宮頸がん検診の受診率を見ると、日本では全体で約20%にとどまり、特に20代の女性の受診率が低い状況にあります。

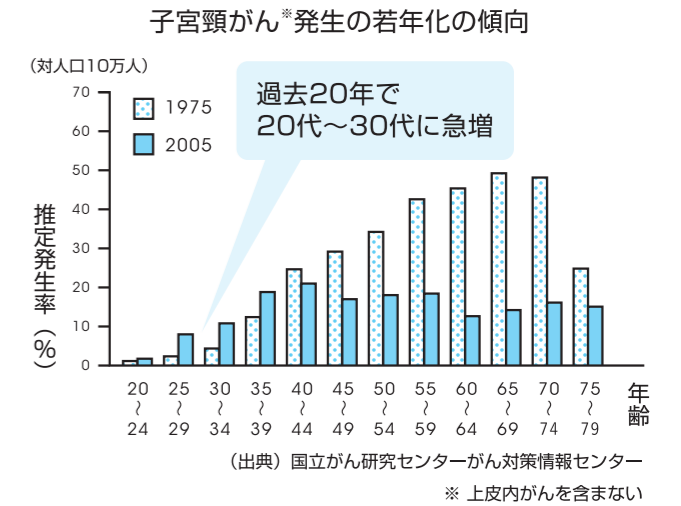
がんになっても、早期に発見すれば手術によって8割以上が治り、子宮を摘出せずに温存することもできます。重要なのは、定期的に子宮頸がん検診を受けて進行してがんになる前の異常な細胞を発見することです。



自分のため、大切な人のための子宮頸がん検診

がんは日本での死亡原因第1位です。2人に1人ががんになり、3人に1人ががんで亡くなるといわれています。がんによる死亡者は、交通事故による死亡者の約73倍です。現在、医学の進歩により、がん患者の約50%の人が治るようになりました。特に初期で発見し、適切な治療を行なうことで非常に高い確率で治療できるため、がん検診を受けることが大切です。

近年、20代や30代の若年層で子宮頸がんが増加傾向にあり、特に妊娠・出産を迎える女性にとって深刻な問題となっています。



子宮頸がん検診って何をするの？

- 1 問診**
医師が問診票を確認し、検査の目的や手順について説明します。
- 2 視診(内診)**
医師が内視鏡を用いて子宮頸部を視診します。
- 3 細胞診**
ヘラやブラシなどを膈内に挿入し、子宮頸部の粘膜を軽くなでるようにして細胞を採取。痛みなどを感じることは少ないです。
- 4 検査終了**
診察時間は、10～20分です。約4週間後、細胞診の結果も含めた検査結果がわかります。

① 20歳を過ぎたら2年に1度は子宮頸がん検診を受け、自分の体を守りましょう。

1つでもチェックがついたあなたは、ぜひ検診を受けましょう。

月経時以外(性交渉や排便、激しい運動・労働の後)に、性器から出血がある
黄色、茶褐色などのおりものが増えた
月経の出血量が増えたり、期間が長引いたり、周期が不規則である
月経時以外に、下腹部が重苦しい、腰が痛いなど不快感がある
子宮がん検診を受けたことがない

問診票が必要です。事前に各庁舎・支所でお申し込みください。期限が近付くと混み合います。早めに受診しましょう。

検診期限	平成27年2月28日(土)まで
対象年齢	市民で20歳以上の女性
内容	視診・内診・子宮頸部細胞診
委託医療機関	・池田クリニック ・片岡産婦人科医院 ・菊陽レディースクリニック ・北熊本井上産婦人科医院 ・ちが産婦人科医院
自己負担	20歳～69歳 1,600円 70歳以上 600円

※平成5年4月2日～平成6年4月1日生まれの人には8月に子宮頸がん検診の無料クーポン券を送付していますので、市役所への申し込みは不要です。

子宮頸がんってどんな病気？

子宮頸がんは子宮の入り口表面にできるがんです。日本では年間約8,500人が発症し、約2,500人が死亡するなど、女性特有のがんとしては第2位の発症率となっています。

子宮頸がんは、ヒトパピローマウイルス(HPV)というウイルスの持続的な感染が原因となって発症します。HPVの子宮頸部への感染はほとんどが性交渉によるものですが、ウイルスに感

染すること自体は決して特別なことではなく、誰でも感染する可能性があります。HPVに感染してもほとんどの場合は自然に排除されますが、長期間ウイルスが排除されずに、ごく一部のケースで子宮頸がんを発症します。長期間かけて発症するため、子宮頸がんは初期の段階では症状はほとんどなく、自覚症状が現れる頃には病状が進行していることがあります。

